

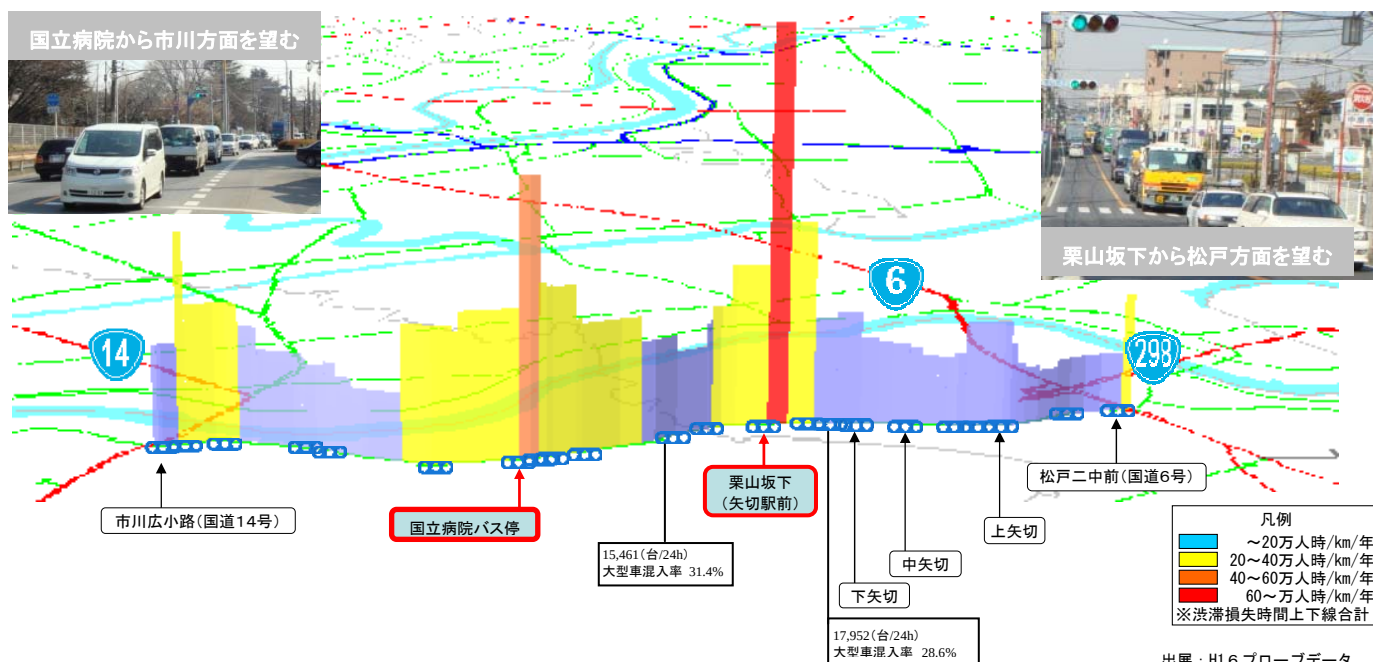


▶ 現在 対策実施中(D)です！

外環整備により市川松戸線の交通を分散し、渋滞緩和を図ります。

渋滞状況

終日続く慢性的な渋滞が2カ所（国立病院バス停、矢切駅前）で発生しています。



対策概要

千葉県内の渋滞緩和を実現させる外環整備

東京外かく環状道路(通称:「外環」)は都心から半径 15km の地域を環状に結ぶ幹線道路です。首都圏の交通混雑の緩和や都市間の円滑な交通ネットワークの実現を目的としています。

このうちの千葉県区間は、松戸市小山から市川市高谷に至る延長約12.1km の区間です。平成27年度の全線開通を目標に整備を進めています。

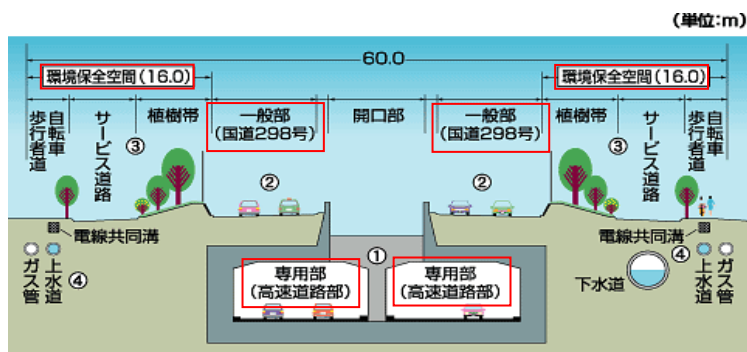


対策概要

市川～松戸区間での整備内容は以下の通りです。

■千葉県区間における外環の構造

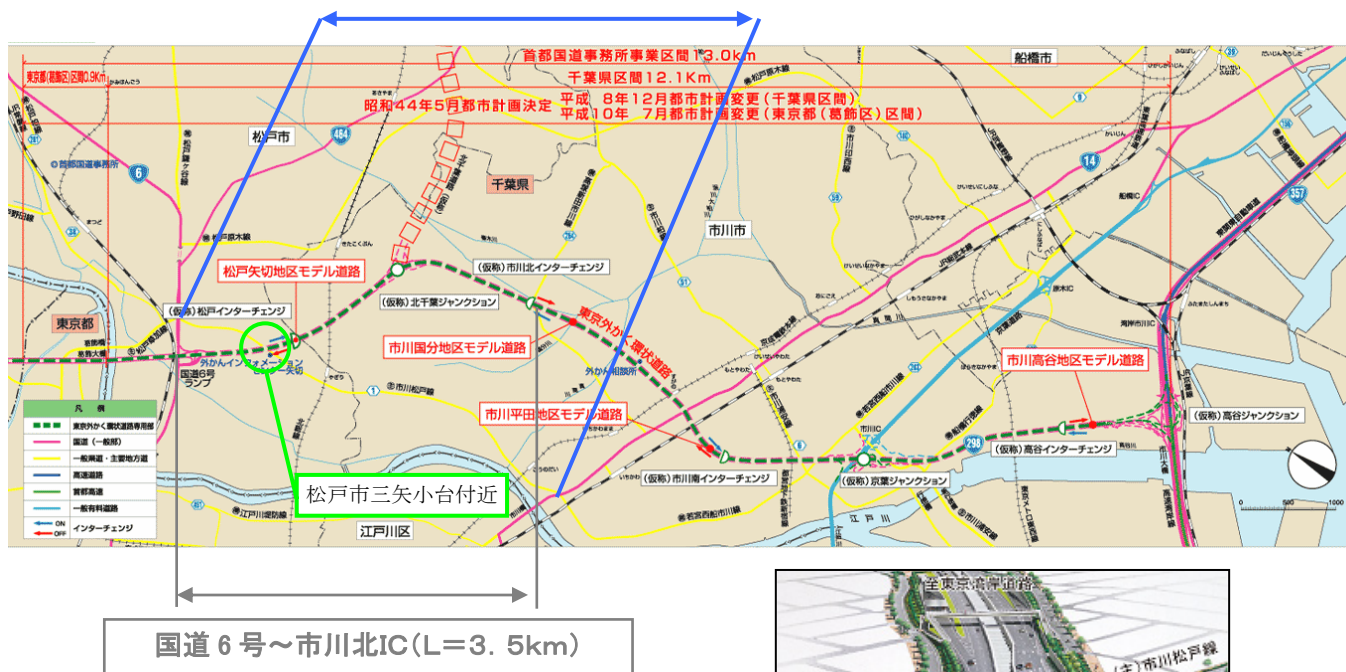
広域的な通過交通を排除するための**専用部**（**高速道路部**）と市内の街路と密接に連絡し、地域の南北方向の交通軸となる**一般部**（**国道298号**）の掘割形式を採用いたしました。



掘割スリット区間を正面からみたイメージ図

■外環整備箇所(国道6号～市川北IC区間)

主要地方道 市川松戸線



三矢小台地区の整備イメージ

■環境保全空間の取り組み

三矢小台地先の「環境保全空間整備」ではパブリックコメントの実施や沿道住民の方々と地区検討会など PI 手法を導入して、市民の意見を反映しながらよりよい整備を進めています。

